

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	まずは職員の労働条件、労働意欲の向上が必要不可欠と考えます。働きやすい職場環境を構築する事でストレスの軽減に繋げ、ご利用者に優しく接することが出来ると考えます。	職員のストレスを出来る限り取り除くことで、ご利用者様が安心・安全で、ゆったりと過ごせる環境づくりを目指す。	毎月全体会議を開催し、職員の声を拾い上げ、無理のない施設運営に反映していく。またご利用者様に何をすれば喜ばれるかを皆で検討していく。	6ヶ月
2	20	現在の状況(コロナ禍)から、外出自粛となっており活動が制限されている中、今後に向けてどのような取り組みを行っていくかを検討します。	地位資源を活用し、ご利用者様が楽しく、有意義に過ごせるよう、また地域の方々とも交流を持てるようにアプローチしていく。	運営推進会議を利用し、地域の方々との交流を目指していく。またご利用者様の意見なども取り入れ、バスハイクや散歩など定期的を実施し、気分転換を図るようにしていく。	6ヶ月
3	35	令和2年の豪雨災害にて甚大な被害を受けており、今後も起こりうる災害に向け被害を最小限に食い止めるように、マニュアル作成が必至である。	災害マニュアルの作成とともに、実際に避難した記録などを残していくき、今後起こりうるであろう災害に向け、ご利用者様の安全を確保していきたい。	災害マニュアルの作成及び改善、地域の方々との取り組みや協力依頼など、実際避難した際の記録などを残していく。	6ヶ月
4	36	認知症に対する研修などが不足がちであり、ご利用者様の言動にストレスを感じる職員も少なくない。施設内研修など積極的に行っていく必要がある。	施設内研修を定期的実施していくとともに、リモート研修や外部研修など積極的に参加し、身体拘束ゼロを継続させる。	まずは施設内研修で、認知症に対する理解を深め、地域で開催される身体拘束や虐待の基礎知識などの勉強会にも積極的に参加していく。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。